

市民活動団体と鎌倉市による協働事業
平成29年度実施分

事業評価

鎌倉市協働事業選考委員会

平成29年度に実施された協働事業の事業評価

《概要》

平成30年6月2日(土)午後1時から、鎌倉市役所第3分庁舎講堂において「市民活動団体と鎌倉市による協働事業実施報告会」(平成29年度実施分)を開催し、協働した団体及び担当課から各事業の結果報告が行われました。

その報告を受け、同日午後3時30分から「鎌倉市協働事業選考委員会」を開催し、それぞれの事業評価を行いました。

委員会における事業評価の内容は以下のとおりです。

なお、評価を行った委員会の委員は次のとおりです。

《鎌倉市協働事業選考委員会 委員》

委員長	志村 直愛	東北芸術工科大学 教授
副委員長	土屋 真美子	特定非営利活動法人アクションポート横浜 アドバイザー
委員	坂齋 明	特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営 会議 会員
委員	村井 知光	公募市民
委員	奈須 菊夫	鎌倉市市民生活部 部長

《実施事業》

1. 鎌倉最新観光情報ツイート事業
… 2 P
2. 身近な図書館づくりプロジェクト
… 3 P
3. 2020年オリンピックに向けて世界に通じるコミュニケーション力啓発事業
… 4 P
4. 働くまち鎌倉推進 ～キャリアのセカンドステップ～
… 5 P

● 鎌倉最新観光情報ツイート事業

★評価の高かった点

- ・ クオリティー・情報精度が高かったこと。
- ・ 団体の得意な部分を生かした有意義な事業であったこと。
- ・ ツイート数が目標を達成できたこと。
- ・ 団体側が、市の期待である「観光客の分散化」を十分に理解して事業を進められたこと。

★評価の低かった点

- ・ 予算書と決算書において、総額、勘定科目及び金額に多くの変更があったこと。
- ・ 事業の進め方は協働事業というより受託的であったこと。
- ・ 事業開始前にツイートのルールを決めておく必要があったこと。

★今後に向けての課題点

- ・ 当初のルールづくりに苦労したことなどは、他の協働事業の参考になり得る。経過を見える化してほしい。
- ・ 「観光客の満足度向上」などの目標は、評価が難しいものである。分かりやすい目標の設定が必要である。
- ・ リアルタイム性をより高めること。
- ・ 効果の測定方法。

《総体的な評価》

「観光客の分散化」というテーマの選定がよく、団体側も市の期待を十分に理解して事業が進められた。

また、事業開始当初に団体と市の調整が上手くいかずに、ツイート案の不掲載が続いたようだが、両方でルールを決め、安定したツイートを行うように改善できた。協働の在り方を探ることができた良い事例であったと思う。

一方で、分かりやすい目標設定とその効果測定の方法や予算額と決算額に多くの変更があったところに課題があった。

● 身近な図書館づくりプロジェクト

★評価の高かった点

- ・ 新しい図書館の可能性を見出せたこと。
- ・ 図書館を身近なものにしようという目的で、地域の団体と市をつなげ、コーディネート役を団体が果たせたこと。
- ・ 図書館は地域の拠点になり得ると思うので、ぜひ今後もすすめてほしい。
- ・ 新しく身近な分野の情報が収集できたこと。
- ・ 自然体験などの企画に面白さがあったこと。

★評価の低かった点

- ・ きちんとしたマイナス面の分析と報告がされること。
- ・ 事業内容が総花的で理解しにくかったこと。
- ・ 予算書と決算書において、明細金額が変更になっていること。
- ・ 定量的評価がされていないように見えること。

★今後に向けての課題点

- ・ 今後の図書館の在り方と団体の活動との棲み分けが必要であること。
- ・ 「やらなければいけないこと」と「やったほうがよいこと」の整理が必要であること。

《総体的な評価》

図書館を身近なものにしようとする目的で、地域の団体と市をつなげ、コーディネート役を団体が果たすことができた事業であった。また、企画の面白さや図書館の新しい可能性を見出すこともできた。図書館を地域の拠点にする取組は、今後も進めてほしい。

一方で、事業内容の要点が絞られておらず、理解が難しかった。やるべき事業を整理し、ピントを絞る必要があると思う。協働の意味を深めるため、マイナス面をきちんと分析・報告してほしい。

● 2020年オリンピックに向けて世界に通じるコミュニケーション力啓発事業

★評価の高かった点

- ・ オープンハートにつながる事業であったこと。
- ・ 楽しそうなプログラム内容であったこと。
- ・ 外国語に対する苦手意識をなくすためのきっかけづくりにつながったこと。
- ・ 参加者からの好評が得られていたこと。

★評価の低かった点

- ・ この事業でいう「コミュニケーション力」を良く理解できなかったこと。
- ・ 予算書と決算書の乖離が大きいこと。
- ・ 事業名で謳われた「オリンピック」と活動内容に乖離が見られたこと。
- ・ 公益性が低いこと。
- ・

★今後に向けての課題点

- ・ 鎌倉ならではのプログラムをつくってほしい。
- ・ 協働事業の目的が「コミュニケーション力」「スタートのきっかけ」づくりだけで良いのか。

《総体的な評価》

外国語に対する苦手意識をなくし、外国語や外国人に広く心を開く、きっかけづくりにつながった事業であった。また、楽しそうなプログラム内容であり、参加者からも好評を得られた。

一方で、事業名で謳われた「オリンピック」と活動内容の乖離が見られたことや予算書と決算書の乖離が大きかった。また、イベントに参加することで期待される公益性のある具体的な効果が理解しにくいものであった。公益性や公共性に繋がる次のアイデアを取り入れてほしい。

● 働くまち鎌倉推進 ～キャリアのセカンドステップ～

★評価の高かった点

- ・ 講座の内容が非常に高レベルであり、多くの人を引きつけたこと。
- ・ 内容については、担当課と団体が将来のことも含めて検討していたこと。

★評価の低かった点

- ・ 予算書と決算書に乖離が見られたこと。
- ・ 安易な計画書変更があったこと。
- ・ 今後のプロセスがわかりにくいこと。

★今後に向けての課題点

- ・ セミナーの結果、特にケーススタディーを開示することで、事業の価値が深まるのではないか。
- ・ 参加者数、就労者数以外の指標づくりを検討すること。

《総体的な評価》

講座の内容が非常に高レベルであり、多くの人を引きつけることができた事業であった。

一方で、予算書と決算書の乖離や安易な計画書変更があったことなどの課題があった。

今回得られた就労への成功事例や反省すべき事例などを公表することで、就労を希望する多くの方への後押しにつながるなど、裾野を広げられる可能性がある。協働事業としての意義を深めるよう取組んでほしい。